

# 甲府一高新聞

## 生号 新特別

発行所 甲府一高新聞部

# 入学式挙行

## 277人が 新一高生に

平成24年度の入学式が4月7日に本校体育館で行われる。厳しい高校受験を経て、一高への切符をつかんだ普通科240人、英語科37人の入学が許可される。



入学式は本日午前9時から入学生、保護者、来賓、職員の出席のもと、体育館で行われる。

### 新入生メッセージ



生徒自治会会長 西野 四季

まず、勉強面では高校入学生を新たなスタートとして、励んでほしいと思います。そして、一高での3年間を通して自分の進路や将来をじっくり考えて、悔いのない選択をしていってほしいと思います。

また、部活動や趣味では、結果を出すことはもちろん大切ですが、しかし、そこで出会う新たな自分や仲間の良いところをたくさん見つけて、一高生活をより有意義で、充実したものにしていくのが最も重要なことです。

慣れない環境に最初は戸惑いを感じるかもしれない。しかし、積極的にたくさんの方と交流を築き、これから始まる一高での生活を楽しく過ごしてほしい。(深沢)

「遊ぶほう」っていうと「遊ぶほう」っていう。「馬鹿」っていうと「馬鹿」っていう。「もう遊ぶはない」っていうと「遊ぶはない」っていう。世界から高い評価を受けたことで、地面(じべた)を速くは走れない。私からだとゆすつても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように、たくさんな頃は知らないよ。鈴と、小鳥と、そ



校長 奥田 正直

## 多様性と共生と

「ごめんね」っていうと「ごめんね」っていう。こ

「遊ぶほう」っていうと「遊ぶほう」っていう。「馬鹿」っていうと「馬鹿」っていう。「もう遊ぶはない」っていうと「遊ぶはない」っていう。世界から高い評価を受けたことで、地面(じべた)を速くは走れない。私からだとゆすつても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように、たくさんな頃は知らないよ。鈴と、小鳥と、そ

## 自分自身に負荷をかけて乗り越える力を



1学年主任 飯島 清樹

1年生がこれからお世話になる飯島学年主任に、抱負と期待を語ってもらった。

### 自己紹介

教師になって23年。一高に勤務して7年目。教師になった理由は人を相手にする仕事をしたいから、その中でもこれからは希望をもって社会に出る高校生たちを相手にしたかったから。担当教科は国語。国語

### 一高の紹介

よく伝統といわれるが、実際は意外と風通しがよく、勉強に限らず部活などにも取り組むことができる。生徒が望めばいろいろなことができる。高校だと思っ

### 一どのような学年にしたいか

基礎知識を大事にして、一人一人が物事を考え、決断する力をつけてほしい。決断力がないと人任せになる、決断するために基礎力がやはり必要になってくる。(橋本)

### 一新生に一言

自分を破壊する一歩手前の負荷が自分を強くしてくれる。高校生活を送っていく中で自分自身に負荷をかけて乗り越えることで成長してほしい。さまざまな負荷が3年間かかってくると思うが絶対に負荷から逃げないでほしい。(橋本)

## 一高の年間行事を紹介

甲府一高では、1年を通して様々な行事が行われている。その中でも甲府一高の2大行事といわれている行事を紹介しよう。

- 4月 入学式・対面式
- 5月 応援練習・生徒総会
- 6月 一高祭・球技大会
- 7月 野球応援
- 8月 オープンスクール
- 10月 強行遠足
- 11月 県芸術文化祭
- 12月 研修旅行(2年)
- 3月 卒業式

## 部員募集

部活に新たな情熱を

## 傍若無人

新入生の皆さんが入学おめでとうございます。皆さんはこの一高新聞を見てどのような感想を抱きましたか。「なんか難しそう」「堅苦しい」、そういった人も多いと思います。しかし、実際は難しいことなどなく、みんなで楽しく新聞作りをしています。特に文章を書く能力が求められるわけではありません。この新聞を見て少しでも興味を持った人は、ぜひ新聞部が活動場所としている4階化学実験室まで足を運んでみてください。

## 擬寶珠

別の季節3月が過ぎて、出会いの季節と呼ばれる4月が到来した。人それぞれ立場は違えど進級や進学、就職と多くの新しい出会いが訪れる。本校でも、厳しい高校受験を勝ち抜いた277名の新生が一高生の仲間入りをした。東日本大地震が起きてからの一年間、地域、国籍を問わず、被災地へと直接赴き、復旧・復興に尽力する人たちの姿を見て、出会いから始まる人とのつながりの大切さを感じた人も多いはずだ。これから新入生もこの一高で多くの出会いを経験するだろう。日常生活はもちろん部活や行事と友情を深める機会がたくさんある。優しい言葉をかけてくれるだけでなく、互いに叱咤激励できるような関係を築いてほしい。成功も挫折も体験することになるだろうが、初心を忘れることのないようしてほしい。新入生に素晴らしい高校生活が訪れることを心から願っている。(山本)

愛読希望の方は、住所・氏名・電話番号を記載の上、下記アドレスまで御連絡ください。



(連絡先) 甲府第一高校 新聞部 井上宛 〒400-0007 甲府市美咲2-13-44 Tel:055-253-3525 Fax:055-253-3527 E-mail shinbunbu@first.kai.ed.jp